

パブリックコメント回答（実施期間：令和5年12月27日～令和6年1月21日）

反映状況	
A	（反映）：意見の内容の一部を反映し、計画案を修正したもの
B	（趣旨同一）：意見と計画案の趣旨が同一であると考えられるもの
C	（参考）：計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの
D	（その他）：A・Cの対応のいずれも困難であると考えられるものや計画案の内容に関する質問など

■第9次大槌町総合計画後期基本計画

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容（趣旨）	検討結果	反映状況
1	総合計画全般に対しての指針 第9次大槌町総合計画後期基本計画にかかる項目 第2章第1節 地域福祉の推進 第2章第4節 高齢者支援の推進	20、21、 26、27	大槌町が直面している人口減少時代において、健康課題の改善と地域産業の再生を同時に達成するためには、継続的かつ効果的な戦略が不可欠です。地域の振興において、健康促進を通じて地域産業を再生させることが重要です。この観点から、私は以下の提案をいたします。 ※健康寿命を延ばし高齢者雇用による人手不足の改善・コミュニティの多様化 地域の意識を高めるために、健康活動を推進する啓発キャンペーンを展開する必要があります。住民に対して定期的な健康セミナーやイベントを開催し、健康的な生活習慣の重要性を広めることで、地域全体で健康への関心を高めることが期待できます。	ご意見は、第2章第1・3・4節と趣旨同一と捉えております。 町民一人一人が自らの健康を自覚し、健康的な生活習慣を確立できるよう、地域全体で町民の健康づくりを支援できる体制の構築等に取り組んでまいります。	B
2	総合計画全般に対しての指針 第9次大槌町総合計画後期基本計画にかかる項目 第1章第1節 おおつちの自然を活かし、継承する一次産業の実現	14、15	大槌町が直面している人口減少時代において、健康課題の改善と地域産業の再生を同時に達成するためには、継続的かつ効果的な戦略が不可欠です。地域の振興において、健康促進を通じて地域産業を再生させることが重要です。この観点から、私は以下の提案をいたします。 ※地域食材の機能性に注目した健康食活動等 地域産業の再生においては、地元の特産品や観光資源を活かしたプロモーションが必要です。地元産の食材の機能性やワークショップを活用した商品開発やイベントを開催し、地域の魅力をアピールすることで、観光客の呼び込みを図ります。	ご意見は、第1章第1・3節と趣旨同一と捉えております。 海業等と連携した新たな観光コンテンツを開発し、町民と来訪者の人的交流を図りながら、誘客に取り組んでまいります。	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容 (趣旨)	検討結果	反映状況
3	<p>総合計画全般に対しての指針</p> <p>第9次大槌町総合計画後期基本計画にかかる項目</p> <p>第1章第3節 おおつちらしい観光物産戦略の展開</p> <p>第3章第2節 地域へと広がる魅力的な学びの場づくり</p> <p>第3章第3節 町民の学習活動の推進</p>	18、19、34、35、36、37	<p>大槌町が直面している人口減少時代において、健康課題の改善と地域産業の再生を同時に達成するためには、継続的かつ効果的な戦略が不可欠です。地域の振興において、健康促進を通じて地域産業を再生させることが重要です。この観点から、私は以下の提案をいたします。</p> <p>※三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルプログラムへの展開</p> <p>健康活動と地域振興を有機的に結びつけるために、観光中心のアクティビティやイベントを展開することが重要です。例えば、自然や歴史的な名所を巡るヘルシーなウォーキングツアーや、地元の伝統を取り入れたイベントを通じて、訪れた人々に地域との一体感を味わってもらえるでしょう。</p> <p>※滞在型の健康プログラムの開発（アドベンチャープログラム、フレイル予防プログラム等）</p>	<p>ご意見は、第1章第3節、第2章第4節、第3章第2・3節と趣旨同一と捉えております。</p> <p>今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>	B
4	<p>総合計画全般に対しての指針</p> <p>第9次大槌町総合計画後期基本計画にかかる項目</p> <p>第2章第2節 子育て環境の充実</p> <p>第2章第3節 健康づくりの推進</p> <p>第2章第6節 医療の充実</p> <p>第5章第1節 協働による地域・まちづくりの推進</p>	22、23、24、25、30、31、50、51	<p>大槌町が直面している人口減少時代において、健康課題の改善と地域産業の再生を同時に達成するためには、継続的かつ効果的な戦略が不可欠です。地域の振興において、健康促進を通じて地域産業を再生させることが重要です。この観点から、私は以下の提案をいたします。</p> <p>大槌町は健康活動を通じて地域振興を促進し、観光資源としての価値を最大限に引き出すことができます。このことにより地域住民と観光客が共に楽しむことのできる体験と交流の機会を提供することで、新たなサービス産業を生み出し、産婦人科の誘致など医療の不安を解消させる事業を加えることでUIターン人材を受け入れる土壌を作り、大槌町は人口減少時代においても持続可能な発展を遂げ、地域全体の魅力を高め、健康で活気ある社会を築くことが期待されます。</p>	<p>ご意見は、第1章第3節、第2章第2・3・6節、第5章第1節と趣旨同一と捉えております。</p> <p>今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容 (趣旨)	検討結果	反映状況
5	基本方針について	-	<p>もっともな構想である。それに加えて過去・現在・未来が一本の時間の流れであることを理解することが大事なことと考える。このことを一言で表すと歴史という言葉になる。歴史は過ぎた過去に限ることではない。現在の我々も歴史を作っていることになる。大槌の成り立ち、人々の生活・文化など先人の未来に対する思いが、そこそこにある。その時代の変化を読み解く事によって、現在に利用できることが数知れずある。大槌の産業は過去には遠洋漁業・海運・海産物・林業など大きな収益を上げる産業があった。それを支える鉄工業や修理を行う技術者が居た。自然環境の変化や産業の国際化により、国の政策も変わり、ものづくり産業は生産拠点を海外に移し、安い労働力を求めて移動している。</p> <p>当町において未来を考えるなら、あらゆる角度から情報分析する能力が必要である。大槌らしきとは大槌にはあるが他にないものが大槌らしきであり、歴史に刻まれた文化や遺跡である。土木建設業では遺跡を工事が遅れる理由で嫌うが遺跡を活用することを考えれば、更なる事業が生まれ様々な分野に広がりを見せることになる。</p>	<p>ご意見は、第1章第1・2節、第3章第3節と趣旨同一と捉えております。</p> <p>今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容 (趣旨)	検討結果	反映状況
6	防災について	42、43	<p>自然環境を良く知ることに尽きる。能登半島震災をテレビで見て感じたことは、その土地の特徴をよく知ることが大事だと思った。新潟県を含め岩石の少なさから大規模な液状化現象や大きな揺れになりやすい土地ではないかと思った。大雨洪水には一度崩した真砂土が災害を大きくする。広島県・岡山県の災害後を視察して真砂土の認識を強くした。</p> <p>大槌は古廟山から箱崎半島の先にかけて石灰岩層が伸びていて、小鍬地区は花崗岩、金澤地域は粘板岩のチャート、その隙間にマグマ跡があり、金鉱脈を形成していると考えられる。真砂土は赤浜、吉里吉里に多い特徴がある。北上山系は隆起と沈降を繰り返した形跡がある。地域の岩石を分析することによって、より確かな防災につなげると思う。そしてそこにある岩石はジオパーク、遺跡は観光、コミュニティ、教育に大きく貢献する。小鍬は製鉄、金沢は金採掘、安渡、赤浜、吉里吉里、浪板は海業、町方は代官所等があり商業の中心ではなかったのではないだろうか。</p> <p>未来を語ることは簡単なことであるが、想像するにはしっかりした基礎学習から始め積み重ねていく必要がある。歴史を積み重ねる発想が未来を創る。</p>	<p>ご意見は、第1章第2・3節、第3章第3節、第4章第1節と趣旨同一と捉えております。</p> <p>今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>	B
7	第1章 農業	14、15	<p>食料生産の中心的産業と位置付け、大規模災害における後方支援事業とすることで、余剰生産を促し、通常時には余剰分を流通販売にのせ所得向上につなげる。土地が狭いうえ生産人口が減っていることに加え、今までいなかった鹿が爆発的繁殖を見せている。先ずはここを解決しなければならない。</p>	<p>ご意見は、第1章第1節、第4章第3節と趣旨同一と捉えております。</p> <p>鳥獣被害の広域化に対応するため、地域が一体となった被害防止対策の構築に取り組んでまいります。</p>	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容(趣旨)	検討結果	反映状況
8	第1章 水産業	14、15	一次産業は自然環境の影響が大きく、特に水産業は新たな研究開発の必要性に迫られている。ナノバブルでの養殖(農業にも利用可能)など先端技術の導入や、陸上養殖では餌となるたんぱく質豊富な植物利用などが考えられる。健康の源は水と食料が原点であり、化学薬品を使い大量生産を行うよりも、多種多様な魚、植物の利用をもって生産することが今日は望まれている。 農業と漁業はそれぞれの生産物で販売できないもの等は生産資材として交互に活用できる。そこに新たな産業の開発がある。	ご意見は、第1章第1節と趣旨同一と捉えております。 産業それぞれの状況に応じた生産支援を展開し、生産性の向上及び安定収量の確保に取り組んでまいります。	B
9	第2章～第5章		移住・定住において子育て環境が充実されていることは重要で、行政と地域産業の共働の力がそのカギを握る。地域産業は働く場所と技術向上意識養成の提供、行政は家庭負担の低減に努めることが望ましい。前項で述べた地域をよく知ることがこの項の基本になる。	ご意見は、第1章第2節、第2章第2節と趣旨同一と捉えております。 今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。	B
10	実施計画について	—	町をよく知るには学習の場の施設が必要で、多くの市町村にもある郷土資料館なるものが当町にはない。資金積み立て計画をしっかりと立てなければならない。震災を伝えると銘打ちながら、震災遺構保存には後ろ向きでは、伝わらない。震災の恐怖は経験者でなければ、心は伝わりにくい。災害を防ぐことが一番の目的のはずであり、そのためには自然と向き合う姿勢と学習が大事であると思う。震災遺構は学習のための貴重な資料という認識を深めなければならない。	ご意見は、第3章第3・5節と趣旨同一と捉えております。 文化財の保存・活用に関する将来的なビジョンを定めるほか、郷土資料館整備の検討を進めてまいります。また、東日本大震災津波の記録を残し、教訓を学び、防災文化として将来の町民に伝承する取組みを進めてまいります。	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容(趣旨)	検討結果	反映状況
11	大槌町第2期人口ビジョン	P27 (2) 基本方針	教科書のような方針が良いと思いますが、この様な方針はどこ自治体もやっており、減っているのが現状だと思います。 大槌の様な田舎で、小手先だけの政策では限界があり、衰退していく一方だと思います。 本気で変えたいと思うなら、米軍基地を誘致するのもありだと思いますが、いかがでしょうか？ 県、近隣市町村、安保条約の絡み等ハードルが高いとは思いますが、考える余地はあると思います！	ご意見ありがとうございます。 人口減少加速化の抑制に取り組む一方で、人口減少社会においてのまちづくりを見据える必要もあるため、幅広い視点で施策を進めてまいります。	D
12	第4章 安全性と快適性を高めるまちづくり 第1節 災害に強いまちづくりの推進	42、43	1 防災(洪水)対策について 小鎗川は長年の大雨により上流からの土砂の流入により川底が上昇している。又河川内の両側に雑草、雑木が生い茂り川幅を狭くしている。 従って近年の大雨にて、あと数センチで堤防を超え地区内の洪水の恐れがあった。(特に白沢橋と三枚堂橋間) 管理は岩手県であるが被害者は大槌町民であり地域住民の要望として土砂の撤去を大槌町として岩手県に願う。	ご意見は、第4章第3節と趣旨同一と捉えております。 管理者などの関係機関と情報共有し、適切な管理を行ってまいります。	B
13	第4章 安全性と快適性を高めるまちづくり 第4節 利便性の高い交通ネットワークの整備	48、49	1 地域振興及び観光振興の立場からの鉄道の維持 三陸鉄道は東日本大震災を経て復興、またJR東日本鉄道(釜石線、山田線)が道路交通網の整備による利用者の減少により赤字が続いている。 今後は廃止又はバス路線への変更が検討されるものと思われる。高齢化が進み自動車免許証の返納により鉄道の必要性、利便性の維持が望まれる。 従って、国、県、地域市町村の共同での地域住民への啓発活動を通じて赤字を最小限に食い止めた形での存続を要望する。 町としての今後とも国、県、JR、三陸鉄道に鉄道の継続を働きかけてほしい。	ご意見は、第4章第4節と趣旨同一と捉えております。 三陸鉄道の運行維持のため、県や沿線市町村と連携し、施設の維持や経営安定化などへの支援に取り組んでまいります。	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容(趣旨)	検討結果	反映状況
14	第5章 将来を見据えた持続可能なまちづくり 第1節 協働による地域・まちづくりの推進	50、51	<p>1 地域づくり団体の形成・活動支援 今後増々コミュニティの重要性が高まって来ると思います。自治会活動を継続的に行う場合は今まで通りのボランティア活動に頼っては継続性はあり得ない。災害時の一時的な活動とは異なり、365日の活動であり、半数以上の役員は仕事を持っており、日曜日しか参加できない又、家族団らんの時間を割いての参加となる。 従って25班ある各班長さん方には年度末には感謝の気持ちで商品券を配布、自治会役員の方々にも同様の有償のお礼を行うことが継続につながると考えております。</p> <p>以前のように、自治会活動はボランティアであるという考えは通用しないと思っています。人と人との繋がり的重要性を鑑み、地区全員の参加を目指し、継続的に行うのであれば若者の参加が必要であり、それなりに刺激策が必要と考えます。</p>	<p>ご意見は、第5章第1節と趣旨同一と捉えております。</p> <p>自治会や町内会の運営においては、様々な課題があると認識しております。地域に関する情報収集や発信に加え、各団体の活動の相談等を通じて、地域団体の活動支援に取り組んでまいります。</p>	B